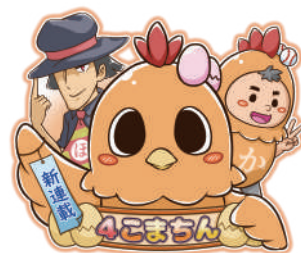


PICK UP

- 2021年度の小牧市への要望に対する回答が提示されました(P.2～5)
- SDGs 実践例紹介コーナー 住友理工株式会社(P.6)



KMAKI

小牧商工会議所会報 Komaki Chamber of Commerce and Industry Newsletter

6

JUN 2022
Vol.433



■ 会員紹介 【今月のきらっと】 すばる整体院／Green House

当所HPからも会報や同封チラシの閲覧ができます。閲覧に必要なID・パスワードはP10 下段に記載しています。



2021年度の小牧市への要望に対する回答が提示されました

昨年10月に当所より山下史守朗市長と澤田勝巳市議会議長へ提出した要望書に対する回答書が、去る4月26日に小牧市より提示されました。回答書の概要は以下の通りです。



▲左から梶本会頭、山下市長

1. コロナ禍からの復活に向けた経済対策について

(1) デジタル活用による生産性向上、ビジネス変革の取り組みへの支援拡充

【回答】(商工振興課)

デジタル活用は、生産性向上とビジネス変革の取り組みとして、コロナ禍はもちろんその後の企業活動においても、整備が遅れている中小企業等には喫緊の課題であると認識し支援策などを検討していました。さらに、令和2年10月貴会議所からのECサイト・テレワーク等の企業支援要望をいただいたこともあり、事業者が取り組みを促進するため「新型コロナウイルス対策事業」として、令和3年2月よりテレワークを推進する「新型コロナウイルス対策新しい働き方応援補助金」を、令和3年4月からはECサイトの取り組みなどを支援する「新型コロナウイルス対策非対面型販路開拓支援補助金」を創設し、これらの補助金は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けて中小企業者がデジタル活用の導入に要する費用などを支援するものであり、令和3年度をもって終了しました。今後の、IT活用・導入補助金につきましては、令和4年度中に完成を予定しております次期小牧市企業新展開支援プログラムにおいて、令和3年度に実施したデジタル活用の補助制度の効果などの検証を行い、支援策の継続や新設など検討し策定を進めていきます。引き続き貴所からも策定委員会に参画していただき、活発な議論をよろしくお願いいたします。

こまきプレミアム商品券については、令和3年度も令

和2年度と同様に新型コロナウイルス感染症の影響を受けている市内事業者の支援と市民生活の下支えをするため、プレミアム率を増額して発行したところ、想定以上の予約申し込みがあり、非常に好評でした。事業者の皆様からの要望も強く、市民の皆様に関心も高いことから、引き続き実施に向け支援していきたいと考えています。

商品券の電子化(キャッシュレス化)につきましては、昨年度実施した、小牧市商業振興検討業務の中で課題や今後の進め方を整理し、その後も他自治体の事例や電子化システムの確認等を継続的に行っていますが、企業が提供する電子決済サービスとは別の市独自システムを導入すると、現段階では大手スーパーやコンビニ等のチェーン店が自社で導入するレジ決済システムとの連携ができません。本市の場合は、他自治体の事例も参考に、電子化商品券に参画しない可能性のある店舗数は、現在の加盟店約600店のうち約250店と想定しています。

加えて、同検討業務の電子決済導入状況実態等調査では、小売業の3割、飲食業及び事業者全体では5割近くが電子決済を導入しておらず、これらの事業者は商品券を電子化した場合に対応するかは不透明です。

また、令和2年度に実施した加盟店アンケートでは、「電子化しても引き続き加盟する」は16%、「電子化の内容によっては加盟したい」は58%、「電子化した場合は脱退する」は18%となっており、大手スーパーやチェーン店以外についてもプレミアム商品券事業の加盟店数に影響が出る可能性があります。

なお、市民アンケートでは9割以上が現金以外の決済手段を利用している一方、商品券の使用形態では約半数の回答者は紙を希望しています。

さらに、令和2年度に実施したキャッシュレス決済ポイント還元事業は、キャッシュレス決済の利用に対して決済額に応じたポイントを電子マネーで還元するため、プレミアム分の電子化として位置づけられますが、事業者にとっては市外からの消費や新たな顧客獲得にも繋がると考えられる一方、利用者が得たポイントは市外の店舗でも利用可能となります。このことから、大規模な導入は慎重に検討する必要があります。

今後の方向性としては、若年層を中心に電子決済の浸透は進むものと予想されるため、商品券の電子化(キ

キャッシュレス化)につきましては、決済システム機能、市民や加盟店のニーズや今後の動向、社会情勢や電子商品券導入による費用対効果、他自治体での実施効果等を勘案して引き続き検討してまいります。

人材育成専門家派遣等の支援につきましては、令和4年度につきましても中小企業相談所運営費補助金において、伴走型専門家派遣事業を引き続き予算措置していく予定でありますので、この補助金を活用したデジタル技術の専門家派遣などの事業や研修を通じて、人材育成に繋げていただければと考えています。

(2)中小企業の人材確保の支援

【回答】(商工振興課)

中小企業の人材確保につきましては、社会経済情勢により、採用状況が大きく左右されることから、安定して採用できるための情報発信等は重要と考えています。特に、コロナ禍をきっかけに、面接から採用までオンラインで行う「リモート採用」を実施している企業もあり、従来とは人材確保の手法や考え方も多岐にわたり、様々な対応が必要と考え、令和3年度においては「新型コロナウイルス対策新しい働き方応援補助金」を有効に活用いただき、テレワークの環境を整え、リモート面接などに利用していただいたところです。

今後は、令和4年度中に完成を予定しております次期小牧市企業新展開支援プログラムにおいて、引き続き貴所からも策定委員会に参画していただき、多様化する人材確保について支援策などの検討を進めていきますので、活発な議論をよろしくお願いいたします。

2. 伴走型専門家派遣事業補助金制度の継続について

【回答】(商工振興課)

伴走型専門家派遣事業につきましては、貴所からの提案により令和2年6月より中小企業相談所運営費補助金として支援をはじめ、コロナ禍における中小企業への国や県の補助金や協力金等の手続きや、企業の抱える様々な課題と目標達成に向けてのアドバイスや支援を行うもので、大変好評と聞いております。令和4年度につきましても引き続き予算措置を講じていく予定であります。

なお、専門家派遣はBCPや一般事業主行動計画、アフターコロナを見据えた事業計画などの策定に有効で、その効果は中期長期に繋がるものと考えていますので、

中小企業の事業継続に向け積極的に活用していただきたいと思います。

3. 小牧市地域強靱化計画に関する取組みについて

(1)事業継続力強化支援計画の推進

①事業継続力強化支援計画など災害対策時の対応に関する連携会議の設置

【回答】(商工振興課)

小牧市地域強靱化計画では、本市と貴所が連携して中小企業の防災力、経営力の強化を推進し、個別企業のBCP策定を促進することが目標として掲げられております。目標を達成するには、貴所との連携が不可欠でありますので、今後、情報を共有し計画の推進に向け、協議調整をお願いいたします。

②小牧中部公民館におけるBCP対策(被災事業者支援拠点としての整備)

【回答】(防災危機管理課)

中部公民館につきましては防災行政無線を配備していますので、そちらを活用して市との情報共有を図ることが可能であるため、無線LANの整備については計画していません。したがって、防災行政無線を活用して市との情報共有を図ることが可能であると考えております。

また、中部公民館は避難所として指定されており、避難者の受け入れに支障が生じる可能性があるため、代替オフィスとしての使用は検討していません。

発災時の情報共有、情報発信、被災した事業者支援業務の連携については市の業務継続計画において、経済活動を機能不全に陥らせないとして、サプライチェーンの確保に向け様々な対応をしなければなりませんので、貴所との連携をお願いします。

このことから、災害時における協定の締結につきましては、より実情に即した相互に有効となる協定内容の検討を進めてまいりたいと考えます。

(2)BCPを策定した後の非常用の設備投資、物資の備蓄等に対する補助制度の創設

【回答】(商工振興課)

BCPを策定後に必要な非常用の設備投資、物資の備蓄等に対する補助制度につきましては、既に制度を導入している自治体に状況を伺ったところ、補助金創設後は申請があったものの、ここ数年は申請がないという

ことでした。

本市といたしましても小牧市地域強靱化計画において個別企業のBCP策定の推進に努めていくと位置付けられていますので、令和4年度中に完成を予定しております次期小牧市企業新展開支援プログラムにおいて、引き続き貴所からも策定委員会に参画していただき、BCP推進の方策などの検討を進めていきますので、活発な議論をよろしくお願いいたします。

(3)愛知県の「基幹的広域防災拠点」周辺道路の整備

【回答】(防災危機管理課、道路課)

愛知県に確認したところ、愛知県基幹的広域防災拠点の輸送経路につきましては、国道41号線から市道多気東町11号線を経由することを想定しているとのことでした。

なお、以前より渋滞緩和を目的として愛知県に要望してまいりました県道小牧岩倉一宮線の南外山交差点右折帯設置につきまして事業着手していただけたことなど、今後も基幹的広域防災拠点周辺の幹線道路の渋滞緩和に向けた取り組みを愛知県に要望してまいります。併せて、市道小針青山線につきましても交通状況を勘案し、関係機関と調整を図りながら必要に応じて対策を検討してまいります。

4. SDGsによるまちづくりの推進について

【回答】(秘書政策課)

本市では、令和3年5月に内閣府において「SDGs未来都市」に選定されたことから、これまで以上にSDGsの推進に取り組んでいく必要があると考えています。

SDGsの推進には行政の取組だけでなく、企業、団体、市民など、多くの方々による取組が必要不可欠であることから、まずは、SDGsに関する市の取組などについてのリーフレットを作成し、周知啓発や理解促進に努めてまいります。

また、未来都市応募時の提案事業である、こまきこども未来館を拠点とした「(仮称)こまきこども未来大学」では、こどもたちの夢への挑戦のきっかけづくりとなるような活動を進め、まち全体でその取組を応援することで、こどもを中心にすべての人がつながる仕組みの構築を目指してまいります。

ご要望のありました「(仮称)小牧型SDGs認定制度」は、SDGsの理念を理解し、地方創生に資する取組を推進する事業者等を登録して見える化を図り、地域で頑

張っている事業者等を応援する仕組みであり、事業者にとっては自社の優れた取組をアピールする場ができるとともに、市にとっても、地域内のSDGs達成に向けた取組が活発であることを内外にアピールすることにつながるものと考えます。

一方で、このような制度は、その地域におけるSDGsの理念の浸透度や、取組状況等に応じた制度の導入が最も効果的であると認識しております。

いずれにいたしましても、制度の構築にあたっては、登録団体の資格の定義や事業者からの取組計画等の提出も必要になるものと考えますので、今後、制度化に向けては関係機関などと協議を進めるなかで、その手法や支援策について検討をしてまいりたいと考えております。

5. 指定管理者、外郭団体の購入する物品等に対する市内企業が受注しやすい環境について

【回答】(行政改革課、商工振興課)

指定管理者に対しては、本市の「指定管理制度における指針」において、「指定管理者の社会的責務に対する配慮」として、できる限り市内雇用や市内業者への配慮を求めています。

また、指定管理施設で使用する物品のうち備品については市が購入するとともに、業務の再委託については指定管理者からの再委託の申請及びそれに対する市の承諾を必要としており、市内業者への配慮を担保しているところです。

今後とも、指定管理者を用いた公共施設における物品の購入や業務の再委託については、指定管理者制度の適切な運用を図る中で、市内業者への配慮を求めてまいります。

外郭団体につきましては、各団体が独自に運営されており、市が直接管理するものではありませんが、行政の補完的な業務をおこない市とは密接な関係があります。

これまで外郭団体においても市内業者からの調達に努めていただいていると聞いていますが、コロナ禍からの経済回復と市内の商工振興を図るため、改めて市内業者からの更なる調達に向けて協力要請を予定しています。

6. 観光振興による地域活性化について

(1)小牧山で、「観る」、「食べる」、「買う」の提供 「れきしるこまき」の周囲、小牧山南側のガイダンス ゾーンでの移動販売車やテント出店の利用体制

【回答】(小牧山課)

国指定史跡小牧山では、長年にわたる史跡の発掘や調査研究により、織田信長が後世の城郭の原型となったと考えられる石垣の城を築いたことや、その後の小牧・長久手の戦いで徳川家康が小牧山に陣を張り、戦に備えて土塁や堀などを整備したことなどが次々と明らかになっております。こうした成果を市内外の多くの方に知っていただくためガイダンス施設である小牧山城史跡情報館「れきしるこまき」を平成31年度にオープンさせたところであります。

さらに、今後は令和3年度から5か年をかけて、山頂部歴史館周辺において織田信長の築いた石垣等の復元、小牧山南麓において小牧・長久手の戦いで築造された土塁の復元などの史跡整備工事を実施します。整備工事完成後は現代に蘇った小牧山城の姿を間近に見ることができ、史跡小牧山の価値や魅力をより一層体感いただけるものと期待しております。

今後、史跡小牧山の来訪者の増加が見込まれ、本市の観光の拠点として、更なる活用に努めていかねばならないと考えております。これまで以上に、市民団体や民間事業者の主催による物販等のイベント開催を調整・受け入れし、連携して観光推進にも取り組んでまいりたいと考えております。

ご要望の出店につきましては、これまでも「れきしるこまき」の周囲では出店いただいております。南麓で整備済みの旧市役所本庁舎跡地のガイダンスゾーンでも出店いただくことは可能です。

なお、今後の史跡整備の工事内容に応じて、当該箇所の通行や利用を一定期間制限をさせていただくことがございますので、ご承知置きください。

(2)名鉄小牧駅から小牧山までの間をシンボルロードと位置付け、効果的な人流増加を図る対策 ・シンボルロード沿いに観光イメージアップな る景観演出的な環境整備 ・来訪客の満足度向上のための休憩スポット、 観光商業エリア等の確保、整備

【回答】(シティプロモーション課)

名鉄小牧駅周辺は、令和2年度に「こども未来館」「小牧中央図書館」が開館し、令和3年度からは小牧駅とラ

ピオを結ぶ歩行者専用道路を「にぎわい広場」として利用を始め、イベントやマルシェ、キッチンカーなどが出店し、来訪者の皆様楽しんでいただいております。また、小牧山においては平成31年に「れきしるこまき」が開館し、令和2年には桜の馬場のトイレを改修するなど、着々と整備を進め、名鉄小牧駅と小牧山を結ぶ道路については、令和2年度に、無電柱化と景観に配慮した街路灯や歩道などの整備が完了いたしました。

名鉄小牧駅から小牧山までの区間の観光景観については、令和5年1月から12月までNHKで放送予定の大河ドラマ「どうする家康」を見据え、小牧山の魅力発信を積極的に図る観光推進策として、その区間をシンボルロードとして、令和4年度からのぼりやペナント、イルミネーションなどを設置して、イメージアップとなる景観を整え、来訪者のお出迎えをする予定です。

また、来訪者の休憩、観光商業エリアの整備につきましては、「どうする家康」により増加する来訪者に対して機動的に対応するため、令和4年度から、一般社団法人小牧市観光協会が移動観光案内車の導入を予定しています。この車両は観光PRのためのラッピングを施し、本市への来訪者に対する観光案内と土産物等の販売、簡易な休憩施設の提供など、シンボルロードに限らず、来訪者が多く見込まれる場所や時期に応じて、おもてなしをする予定であります。

大河ドラマ「どうする家康」を契機に様々な観光振興策を貴所と小牧市観光協会と連携して実施していきたいと考えていますが、その後につきましては、コロナ禍で改定を延期していた小牧市観光振興基本計画を、令和4年度から5年度にかけて、アフターコロナに対応し、観光振興による地域活性化を目指して、抜本的に改定する予定であります。この計画は小牧市中心市街地グランドデザインと同じ、貴所から策定委員会に参画を依頼する予定であり、活発な議論をよろしくお願いいたします。

紙面の都合で商工会議所側の要望内容は、全文掲載せず、項目のみとさせていただきます。要望書の全文は<http://www.komaki-cci.or.jp/iken>に掲載しております。合わせてご覧ください。

SDGs実践例紹介コーナー

去る4月15日、SDGsの達成に向けて、当所は、小牧市やNPO法人こまき市民活動ネットワーク、小牧青年会議所、東春信用金庫、東京海上日動火災保険の6者の包括連携協定を締結しました。これに合わせ、当所では、東春信用金庫と連携してビジネス視点による「企業の持続可能な経営目指す！SDGsセミナー」(詳細同封チラシ)を開催します。



▲締結の様子(右から3番目に梶本会頭)

今号のSDGs実践例紹介:住友理工株式会社

住友理工グループでは創業以来、住友事業精神が謳う「信用確実」「不趨浮利(ふすうふり)」を忠実に守りながら、世界中で必要とされる“Global Excellent Manufacturing Company”への飛躍を目指してきました。この住友事業精神こそSDGsに通ずるものであり、SDGsという言葉ができる以前からその精神のもとで活動をしています。また、2014年にいち早く国連グローバル・コンパクト(UNGC)に署名、国連グローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワークへ加入したことにより、さらにSDGsへの取り組みが加速しました。現在進めている「2022年住友理工グループVision(2022V)」の策定時にSDGsを軸に目標設定を行い、社会課題を見据えた積極的な提案と、お客様との強固なパートナーシップのもと、モノづくりの技術革新による独自の付加価値を加え、社会価値の創造を図っています。



きっかけ



秘訣

- ①住友事業精神に基づき、SDGsなどに代表される社会課題に対し、技術革新を通じて解決を図ります。
- ②企業価値と公益価値を同時に向上させることで、社会的価値を創造し、社会とともに持続的に成長することを目指します。



結果

SDGsなどに代表される社会課題に対し、当社の製品・技術が、顧客の製品に組み込まれ利用されるだけでなく、エンドユーザーに直接使用いただくケースも増えてきました。このような中、コロナ禍によって、さらに持続可能な社会の実現に向けた製品づくりの要請が増えていることを実感しています。



「ファインシュライト」の開発



▲さまざまな形状・場所に使用できるファインシュライト

当社は、高断熱フィラー「シリカエアロゲル」の塗料化に成功し、2020年に薄膜高断熱材「ファインシュライト」を開発しました。不織布シートタイプで非常に薄く、熱源に貼り付けることで放熱を抑制し、工場・設備での燃料や電力などのエネルギー消費の節約に貢献しています。



小牧市でフレイルチェック

昨年10月より、小牧市と締結した協定に基づき、当社のフレイルチェックシステムを使った健康づくり事業を推進しています。「フレイル」とは、加齢とともに心身が弱り、要介護に近づいた状態を指します。

昨年度は小牧市東部地区で暮らす60歳以上の市民約130人を対象に実施。今年度も地域を広げて測定会を開催予定です。SDGs未来都市に選定された小牧市の施策を協働で進めています。



▲当社の「SRセンサー」技術を活用したテスト

社会課題を起点とした新規事業

社会課題	SDGs	顧客のニーズ	当社の優位性	当社製品・取り組み事例
安心・安全なモビリティ社会	3 持続可能な開発目標	・安全安心な自動運転走行 ・運転見守り	スマートラバー	・ステアリングタッチセンサー ・ドライバーステアリングシステム
	9 産業・インフラ	モビリティを人間中心に最適化し、あらゆる人のライフスペースを拡大	産総研との先進高分子デバイス連携研究の設立	
気候変動(カーボンニュートラル)	13 気候変動	EVの電費改善 EV電池の安全確保	高断熱材	ファインシュライト 電池セル間断熱材
	12 持続可能な消費と生産	FCVの安全性向上、高効率発電 工場設備のエネルギー効率改善	シール部材	・セル用ガスケット ・水素ホース
新型コロナウイルス感染症	3 持続可能な開発目標	新型コロナワクチンの定温保管	高断熱材	ファインシュライト
	12 持続可能な消費と生産	コロナ禍で需要の増すフードデリバリーの質向上		
超高齢社会	3 持続可能な開発目標	患者の容体のリモート監視	スマートラバー	体動センサー(モニタリング)
	3 持続可能な開発目標	介護見守り、フレイル予防生活習慣病予防		

会社概要

住友理工株式会社

1929年に創業し、愛知県小牧市に小牧本社・製作所を置くモノづくり企業です。2014年に東海ゴム工業から社名を変更しました。自動車(モビリティ)分野では、振動を制御する世界トップシェアの防振ゴムなどを製造。インフラ・住環境、エレクトロニクス、ヘルスケアの各分野でも事業を展開しています。世界20ヶ国以上に広がるグローバルネットワークを活用して、人・社会・地球の安全・快適・環境に貢献する“Global Excellent Manufacturing Company”を目指しています。

<問い合わせ先:小牧本社(代表)0568-77-2121>

代表取締役 執行役員社長 清水和志



SDGs 世界を実現するには、世界中の企業による様々な技術革新が不可欠です。住友理工(株)もその1社として更なる商品開発に期待が高まります。

一般社団法人
中小企業支援ナビ代表理事
中小企業診断士



長谷川雅彦

役員・議員改選に関するお知らせ 第14期1号議員選挙に係る選挙委員決まる

第13期(2019年11月1日~2022年10月31日)の当所議員の任期満了に伴う第14期1号議員の選挙を実施するために選挙委員会が設置されました。選挙長には、規定により当所専務理事が就任し、選挙長が委嘱した選挙委員は、ブロック会の役員や1号議員経験者から選任された次の7名の方々です。

敬称略		
坪井	和巳	小牧商工会議所 専務理事
鈴木	則孝	(有)ベルズサポート
伊藤	彰康	(株)春日堂
水野	清香	水野工業(株)
吉田	英樹	邦田工業(株)
沖野	孝憲	(株)沖野製作所
甲斐	稔浩	甲斐土建
舟橋	和則	舟公建具店

※第14期1号議員選挙に伴う選挙人名簿縦覧 ■期間 6月13日(月)~20日(月) ■場所 小牧商工会議所2階事務所内
※第14期役員・議員の選任日程概要については、5月号本紙4Pにて掲載しております。

<問合せ先:総務課>



**経営者の未来と
会社の安心のために。**

●本商品をご検討の際には「重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報・その他重要なお知らせ)」「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。
AXA-A1-1709-1425/9F7

アクサ生命

在任中のリスクやご勇退に向けての備えは万全でしょうか。
万が一の事態から会社を守り、経営者の未来を支えるために、
アクサ生命はさまざまなサポートを提案させていただきます。

「就業不能」リスクまで
手厚くサポートします

**就業不能
保障プラン**

定期タイプ

経営者のリスクに備える

アクサの
保障重視の定期保険
ピュアライフ

定期タイプ

在任中から勇退後まで手厚くサポートします

アクサの
一生保障の終身保険
98定期付終身保険

終身タイプ

アクサの
長期保障の定期保険
LTTPフェアウインド

長期定期タイプ(98歳満了)

アクサ生命は、商工会議所と協力し、会員事業所の各種ニーズ(弔慰金・見舞金制度、退職金制度、リスク対策や事業承継など)を共済制度/福祉制度でサポートしています。

アクサ生命保険株式会社
名古屋支社 小牧営業所
〒485-0041 小牧市小牧5-253 小牧商工会議所会館1F
TEL 0568-72-7188

相談してよかった!! 私におまかせ下さい!!

**とうしゅん中小企業
パートナーセンター**

相談無料

★お問合せ★

●TEL: 0120-241-927
●E-mail: tpc@toshun.co.jp

あなたと街のパートナー
東春信用金庫

ファッション系もの **みやこ**

MEGAドン・キホーテ UNY小牧店2F ☎・FAX0568-75-9883

Lady's **Edoya** エドヤ

■大山駅東キャスタ2F ☎・FAX0568-62-6213

■名鉄小牧ホテル1F ☎・FAX0568-75-9565

■アピタ知立店1F ☎・FAX0566-83-8120

■MEGAドン・キホーテ UNY大口店2F ☎・FAX0587-95-8748

■アピタ各務原店2F ☎・FAX0583-70-9882

■本部 犬山市松本町2-63 ☎ 0568-62-3858 FAX 0568-62-8737

社長 日比野良太郎



慢性腰痛専門 すばる整体院

北外山にある「すばる整体院」は、KYT治療法を取り入れた「腰痛専門」の施術院。院長の牛田さんは32才の若さだが、野球をしていた時代にヘルニアやぎっくり腰、肩の脱臼などを経験し、自身が治療を受ける中で『人の身体は人の手で良くすることができる!』ことに感動し治療家の道へ進んだ経歴の持ち主。

痛みを感じる部分を一時的に直しても、痛みの原因が治っていないと根本的な解決にはなりません。関節・筋肉を解剖学的に正しい位置に戻し、痛みの出る原因を根本的に解決し、さらに生活習慣指導・セルフケア指導を継続的に行うことで「もっと動ける体」「予防する体を作る」ことに重点を置いています。施術前にはしっかりと説明を行い、双方納得してからしか施術は始まりません。

今後は体の内側からアプローチする『食事指導』にも力を入れるていくとのこと。こちらもファスティングマイスターの資格を持った院長が、不安に寄り添いしっかりサポートし、身体を中から変えるお手伝い

本気で治したい人だけ来てほしい。
～痛みがなくなり動ける身体へ導きます～

をします。

身体の内外的からのアプローチで“健康な身体をつくり楽しい生活を送る”サポートを全力でしてくれるすばる整体院。本気の方だけお問い合わせください。(取材：三浦)



▲院長 中田氏



住所 小牧市北外山城前1161-1
連絡先 0568-44-1438



cáfe & restaurant Green House

香ばしいコーヒーの香りに、スパイスの香り。カフェ&レストラン「グリーンハウス」では、その名の通り、おいしいコーヒーと、本格カレーをいただくことができます。

一番人気の本格インドカレーランチは手頃な価格でカレーを楽しむことができ、ナンとライスを食べ放題といううれしいサービス。毎回焼きたてを提供するナンは、フワフワの生地にバターが効いて、どれだけでも食べられてしまいます。現地のシェフが作るカレーもチキンカレーやほうれん草カレー、シェフおすすめの週替りカレーに、月替りのイベントカレーと種類豊富!さらに、カレーの他にも鉄板ナポリタンやからあげなど、ナンをセットで楽しめるランチもあり、メニューも豊富なのでリピートしたくなること間違いなし。

元々料理人だった加藤店長はコロナ禍で様々なメ

居心地のよさと本格カレー&ナンの満腹感 リピート必至のカフェレストラン

ニューを探り、可能性と味を追求。現地のシェフとの出会いなどもあり、カレーを軸にしたカフェにしたそう。これからも地域に愛されるお店になるよう楽しくやっていきたいとのことでした。一日中提供しているモーニングも豊富なので、ぜひ一度訪れてみてください。(取材：桜井)



店舗名 グリーンハウス
住所 小牧市桜井本町144
電話番号 0568-77-9968



2021年度 会員拡大活動 新たに220件が加入

ご加入いただきました会員の皆様、誠にありがとうございました。

2021年4月～2022年3月の一年間、当所では総務委員会所管のもと、会員を増やすための会員拡大活動を実施しました。

新型コロナウイルス感染症対策に係る補助金・助成金の申請手続きやご相談への対応を機に、また役員・議員・会員様からのご紹介により、当初の目標150件を大きく上回る220件の新たな事業所様にご加入をいただきました。

ご紹介いただいた皆様、ご加入いただいた会員の皆様、誠にありがとうございました。皆様のお役に立てるよう役職員一同、会議所活動の更なる展開に向け努めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



新 会員さんです どうぞよろしく!!

2022年3月1日～4月30日の期間にご加入いただきました。(18件 事業所 50音順)

事業所名	営業内容	所在地
笠巻設備	電気工事、住宅設備	小牧市応時三丁目
(株)K2プラス	自動車整備	小牧市舟津
JISEMO	動画制作(各種イベントの撮影・編集、プロモーション動画制作)	小牧市久保一色
スナック イツコ	スナック	小牧市間々本町
スナックL	スナック	小牧市文津
(株)SocialWorks	介護保険法に基づく居宅介護支援事業	小牧市新町一丁目
飛魚丸	剥製加工業	小牧市小木東一丁目
(株)岩田清掃	一般廃棄物及び産業廃棄物の処理業	小牧市大草
(株)エコルソレイユ	障がい福祉サービス	春日井市八事町
(株)カウントゼロ	ファミリーレストラン	小牧市小木三丁目
キムラユニティ(株)小牧事業所	文具メーカーからの物流業務請負	小牧市入鹿出新田
Total Beauty Salon Splendor	ウィッグ・化粧品など美容関係類の小売	小牧市野口
(株)前田通信	電気通信工事業	小牧市岩崎原一丁目
(株)マル設備	空調設備工事、電気工事	小牧市城山三丁目
三矢商事(株)	衣料品の卸	小牧市久保一色
(株)ミライク	システム開発、webサイト構築	名古屋市中区錦
(株)メディカルブレインみんなの薬局小牧	保険調剤薬局	小牧市小松寺五丁目
ユアーズサロンスズキ	理容	小牧市新町三丁目

こまき新産業振興センター

募集

ビジネストrendセミナー「SDGs 電力消費見える化とマネージメント」 共催:小牧市

日時 6月21日(火) 午後1時30分～4時00分

場所 小牧中部公民館4階大会議室 (小牧商工会議所会館併設) **定員** 先着30名 **料金** 無料

電力の見える化で企業の省エネ対策に取り組まませんか?本セミナーでは、最適な省エネの方法を事例を交えて解説します。ぜひご参加ください。

【第1部】省エネに関する運用改善とエネルギーマネージメント事業事例

講師 アイ・ピー・テクノス株式会社 営業本部 営業企画部 環境ソリューション推進グループリーダー 石井 健一氏

内容 東京都及び横浜市の施設における省エネ診断、民間企業の省エネ診断、補助金事業を実施しています。小牧市内の有限会社志村プレス工業所様を範にとり、運用改善を分かりやすく説明させていただきます。

【第2部】工場内の見える化事例紹介とエネルギーマネージメント

講師 有限会社志村プレス工業所 代表取締役社長 志村 正廣氏

内容 近年様々な問題によりエネルギーコストは年々増加しています。エネルギーコスト問題への取組は急務の課題です。その課題に取り組み、工場内の電力デマンドの見える化と年間最大1千万円の削減を可能にした具体的な対策を解説します。

申込締切

6/17(金)
17:00

申し込み・お問い合わせ



こまき新産業振興センター
0568-75-3900



総合印刷

CP 中愛印刷株式会社

〒485-0041 小牧市小牧四丁目595番地
TEL: 0568-72-1221 FAX: 0568-76-6584
E-mail: win@chuai-p.com

複合エネルギー時代に躍進する



株式会社 **絹 庄**

本 社/小牧市中央一丁目317 〒485-0029
TEL <0568> 77-2281(代)
FAX <0568> 75-4307

小牧SS・楽田SS・小牧倉庫・ガス営業部

小牧市民の皆様に防犯・防災情報・ライブカメラ映像を24時間放送中

道路・河川
カメラ映像

安全・安心
123ch 地デジ

防犯情報

気象情報

中部ケーブルネットワーク株式会社
0120-441061 春日井局 9:00~18:00 (日祝除く)

URL: <http://www.ad-daisen.co.jp>

DMの事なら、アド・ダイセン



株式会社 アド・ダイセン 名古屋支社
TEL.052-934-2212(代) FAX.052-934-2218
〒461-0004 名古屋市中区東区3丁目14-12 HGビル4階 大阪本社・東京支社・福岡支社・札幌支社

会 議所カレンダー

Calendar

各種事業案内(会議は除く)

6月		
8	水	・インボイス講習会
12	日	・第161回簿記検定試験 ・小牧城見市
13	月	・企業採用担当者と高等学校進路指導担当教諭との懇談会
21~27	火~月	・高度健康診断(人間ドック) ※土日は除く
22	水	・夏季融資相談会
26	日	・第225回珠算(そろばん) 検定試験
29	水	・源泉所得税 中間納付指導会

融 資と金利

Loan & Interest rate

日本政策金融公庫 (5月2日現在)	制度名		用途	期間	年利率
	マル経融資 小規模事業者 経営改善資金		運転	7年以内	1.21%
			設備	10年以内	※コロナ関連 特例あり
愛知県	一般貸付 ※1		運転	7年以内	担保提供の場合 1.06~2.45%
			設備	10年以内	担保不要の場合 2.01~2.80%
	小規模企業等 振興資金 ※2	通常資金	運転 設備	3年以内	1.30%
				5年以内	1.40%
				7年以内	1.50%
		小口資金	運転 設備	10年以内	1.60%
				3年以内	1.10%
				5年以内	1.20%
				7年以内	1.30%
			設備	10年以内	1.40%

※1 担保・第三者保証の条件により、異なる金利が適用されます。
※2 別途「信用保証料」が必要です。

相 談 室

Consultation room

詳細はこちら



経営者は孤独?

**私たちが
がいます!**

資金繰り・経営のこと、
一人で悩まず、まずはお電話ください。

0120-454-754

AICHI GUARANTEE
愛知県信用保証協会

中小企業の借入をサポートする公的機関です。

草ムラの向こうは...? 10話



絵:青野三昧

編集委員の

つぶやき

青年部で2年ぶりのリアル対面での総会がありました。部員の皆さんは本業がある中での準備・設営・当日の采配などなど...すべてを自分たちで取り仕切っている姿には本当に頭が下がります。「青年部が忙しいと本業も忙しい」と皆さんおっしゃるので、どちらも忙しくなるのを祈りつつ、これからもみんなのワチャワチャを静かに見守りたいと思います(>_<)(M)



名古屋コーチン・地域資源活用奨励金をご利用ください

今年も継続が決まりました

名古屋コーチンプロジェクトでは、小牧市の地域資源である『名古屋コーチン』を取扱う事業所を応援し、奨励金を交付しております。

『名古屋コーチン』を楽しめる店舗を増やし、小牧が発祥の地である『名古屋コーチン』による観光振興を推進するため、是非、新商品・新メニュー開発に取組み、この奨励金制度をご利用ください。

支援対象者

当所会員または名古屋コーチンプロジェクトの会員であり、名古屋コーチンを使用したメニュー・商品の新規開発・継続的な取扱いを行う事業者で、過去に奨励金の交付を受けていない事業者
(例) 飲食店の新メニュー、小売店での継続的な販売、製造加工業者による「こまちん製品」の開発等

募集期間

2022年6月1日～2023年2月28日

支援金額

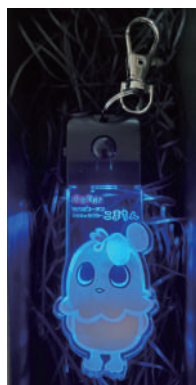
一律5万円(1事業所1件)

※予算上限に達し次第終了。支援要件あり

申請の流れ

交付申請書の提出→事務局による書類審査→
交付の決定→事業開始→職員による現地・現物確認→支援金の振込→職員による定期的な訪問

利用例



▲利用例：カフェレストぼだい樹
『名古屋コーチン卵のカルボナーラ』

◀利用例：(株)オーエスシー
『こまちん LED キーホルダー』

＜問合せ先： 中小企業相談所 三浦＞

報告



地域経済動向レポート

2022年 1-3月期

当所では、このほど2022年4月に実施した管内小規模事業者の景況調査結果をとりまとめました。この調査は、小規模事業者の景気動向を把握し、経営の参考にしていただくことを目的に四半期ごとに実施しています。

■調査方法 面談・FAX・WEBによるアンケート方式

■調査対象 小規模102社(回答率64.9%)

1 全産業の売上DI※の推移

全産業の売上DIは△3.9と、前回(2021年10-12月期)の3.7から7.6ポイント悪化した。

中小企業基盤整備機構の全国調査でも△38.3と、前回△26.0から12.3ポイント悪化した。

2 先行きの見通し

先行き(2022年4-6月期)の売上DIは、全産業計で7.8ポイント回復が予想されている。

※DI=「好転」と回答した企業の割合から「悪化」と回答した企業の割合を差し引いた数値

3 経営上の問題点

市内小規模の業種別では、サービスはプラスに好転し、その他はさらに好調を維持。建設・製造・卸・小売は悪化。採算は資材、材料費等の高騰により、その他以外の業種は悪化しており、資金繰りについては、全業種悪化となっている。先行きについては、売上・採算・資金繰りは回復、改善する見通しであるが、従業員については変わらず不足傾向。

小牧商工会議所 地域経済動向レポート
→<http://navi.komaki-cci.or.jp/keiei/keiei03>



全産業合計の売上DIの推移(他の調査との比較)

